

「10の姿」 自立心

幼児教育・保育におけるガイドラインである教育・保育要領には幼児期に身につけるべき資質・能力は、小学校教育以降に学ぶ「知識」や「思考力」、「人間性」等などの基礎であると記載してあります。

その基礎力は小学校のような教科別の学びではなく、遊びを通しての総合的な学びの中で身につきます。

また、教育・保育要領によると、資質・能力を具体的に育てようとしたときに、どのような点に注意して指導をすればいいのかを表したものが「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」通称「10の姿」と呼ばれているものです。

この「10の姿」は、幼児期に完成し100%できるようになるという到達目標ではなく、子ども達が歩み出している方向を表します。さらに、これを小学校と共有し、特に小学校教育の始めにおいて指導を継続していくことが、小学校の学習指導要領にも明記されています。つまり幼児教育の終了に向けて、指導の力を入れるべき点として挙げられているのが「10の姿」です。



その「10の姿」の中に「自立心」という項目があります。

自立心とは、しなければならないことを自覚したり、色々なことに気づいたり、自ら考え、工夫したり、諦めずにやり遂げたりする力です。ですから、自立心は幼児教育の中心的な物であり、言い換えれば、幼児教育は子どもが自立していく場だということです。

教育・保育要領の文中に「身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。」とあります。大切なのは「行動するようにしなければならない」ではなく「するようになる」ということです。保育者はそのことをサポートしていくということです。どのようにかといえば「環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で」とありますから主体的に関われる環境を用意するということです。



環境といっても色々あります。チャレンジしようと思えるような物の配置、自然環境に触れるための散歩などの計画、子どもが困っているときに先生がさりげなく声をかけサポートする適切な関わり。先生の関わり方も環境の一部です。

当園ではこれらの様々な環境に注意しながら子どもの自立心を育てています。



認定こども園

やまざきゆめの森こども園

えんだより

2021

7月

花壇では子ども達が種を植えたヒマワリが芽を出し、ナスやミニトマトなどの夏野菜も元気に育っています。子ども達も園庭に出るとお水をあげたり、野菜の花を見つけたりと、生長を楽しみにしています。夏は子ども達も色々な事を吸収して心も身体もぐんぐんと成長する季節。夏ならではの経験を通してどんな発見がうまれるのでしょうか。とっても楽しみです。

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3 七夕会  そうまくん・5	4
5 体育あそび	6	7	8	9 お泊まり保育 (みどり・あお) 河川環境楽園 (ゆめ)	10 お泊まり保育 (みどり・あお)	11
12	13	14	15	16	17 資源回収	18
19 体育あそび	20	21	22 海の日	23 スポーツの日	24	25
26 身体測定	27	28	29	30	31	

※体育あそび・・・体操服を着用して登園して下さい。

お知らせ・おねがい

- ・七夕会…9時までに親子で登園してください。持ち物：レジャーシート、手拭きタオル
- ・9日(金)…おにぎり2個と水筒(お茶)を持って登園してください。
朝は平常通りバスが出ます。帰りのバスは出ませんので、き・あか・もも組は16時にお迎えをお願いします。(延長保育が必要な家庭は事前に園まで連絡ください。)
- ・10日(土)…希望保育はありません。みどり・あお組は10時にお迎えをお願いします。
お泊まり保育の詳細は追ってお知らせします。
- ・プール中止…コロナウイルス感染防止のため、今年度も水を溜めてのプール遊びは中止となります。
ゆめぐみは山崎の北谷の河原に水遊びに出かけたいと考えておりますので、例年通り水着の用意をお願いします。水着、タオルをプールカバンに入れ持たせてください。
- ・わんぱくごっこ…庭田保育園・石山保育園との交流会です。12日は庭田保育園に行きます。